

2017

6

June
No. 291

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

生活工芸アカデミー、開講！

主な内容

『生活工芸アカデミー』開講	2	図書のご案内	8
桐の里ウォーク2017	3	町史編さん室だより	9
三島小学校・保育所合同大運動会	4	地域おこし協力隊活動報告	10
まちの話題・町民記者通信	6	宮下病院からのお知らせ	11
健康で元気な毎日！	8	情報配信	12～13
		町長日記	14



桐の里ウォーク2017

あいにくの雨天にもかかわらず笑顔あふれる大会になりました

桐の里ウォーク 2017は5月13日に開催されました。当初は町内外から200名を超える申し込みがありましたが、雨天により当日の参加者は120名程となりました。参加者の皆さんは町民運動場をスタート・ゴールとする全長8kmのコースを思い思いのペースで歩きました。

開会式の後、ウォーキング指導員の角田陽市さん（大登）を先頭にスタートしました。当日はあいにくの雨模様でしたが、少しずつ天候も回復し、参加者の皆さんは新緑の季節を迎えた三島町の風景を楽しむことができました。また、休憩所となっている桐の里倶楽部では観光協会が甘酒を、ゴール地点では豚汁の他、JA山菜加工場など町内3店舗が出店し地元の特産品販売やふるまいがあり、参加者の皆さんも満足そうでした。

桐の里ウォークは今回



で2回目の開催となりましたが、町スポーツ推進員や関係者の協力でスムーズな運営ができました。来年度以降も健康維持と三島の美しい景色を堪能できるイベントとして開催を予定しています。



生活工芸アカデミー 1期生の皆さん
(右の写真、左から)

坂井 智子 さん（神奈川県）
中山 知美 さん（新潟県）
井口 恵 さん（神奈川県）
高橋 ほたる さん（東京都）

農山村生活と生活工芸技術を学ぶ 「生活工芸アカデミー」開講



生活工芸アカデミー開講式は5月9日に生活工芸館で行われ、女性4名がアカデミー1期生として入講しました。

式では矢澤町長が「町民と交流しながら1年間、ものづくりに励んでもらいたい」とあいさつし、五十嵐健二町議会議長、五十嵐三美町生活工芸運動友の会長が歓迎の言葉を述べ、青木基重奥会津編み組細工伝統工芸士会長が激励の言葉を送りました。

アカデミー生は、来年3月まで浅岐地区の住居で共同生活を送り、編み組細工や農業を学ぶとともに、地区の行事等への参加を通して町民との交流を深めながら、町で生活していきます。

町民の皆さんも町内でアカデミー生を見かけた際は、お気軽に声をかけてください。

生活工芸アカデミーに
4名が入講

生活工芸アカデミーは、平成28年度に策定した「三島町生活工芸村構想」に基づき、ものづくりに精神の醸成と生活工芸技術の継承に向け、ものづくりの担い手育成と山村での自活モデルづくりを目指し開講されたものです。アカデミー生はヤマブドウやヒロロ、マタタビ細工の実技や材料の採取と栽培、町の歴史や生活工芸運動の成り立ちなどの座学、その他にも農作業や郷土料理体験により山村での生活を学びます。また、ものづくりを軸にした、子どもから高齢者まで、関心のある分野ごとに、技術、知識に応じて学べる、町民向けのプログラムを設け、担い手の育成を図ります。

さらに、町ではアカデミー生が卒業後も町で生活していく仕組みを整え、今後の定住の促進と、ものづくりの担い手の確保に向けて取り組み、地域の活性化に繋げていきます。

三島町で生活する
モデルに



（広報担当より） 今月の表紙は生活工芸館へ出発する前に、アカデミー生の皆さんが住んでいる浅岐地区の住居にお邪魔して撮影しました。三島での生活について皆さんは「一カ月経つてみたいとわからない」と話してくれましたが、地区の方と元気にあいさつを交わし気軽に会話する姿は、すっかり地区の一員となっているように見えました。



表紙の写真から



平成29年度三島小学校・三島保育所合同大運動会は、5月20日に三島小学校校庭で行われました。当日は雲一つない青空の下「燃える紅組 輝け白組 みんなが主役の運動会」をスローガンに、保育所の子どもたち、三島小の児童たち、そして保護者の皆さんも元氣いっぱい競技に参加し、歓声が響き渡りました。

燃える紅組 輝け白組
みんなが主役の運動会



大石田グランドゴルフクラブがグラウンド整備 / 福一満そばクラブ第1回活動

文・写真 中兵一郎さん（大石田）



5月4日、大石田グラウンドゴルフクラブ会員28名が旧大石田分校のグラウンドで整備作業を行いました。枯れ葉、枝の撤去、砂入れ、加圧、除草剤の散布や落下防止柵の設置などを行いました。今年度も健康維持と親睦を目的に、毎週火、土曜日午後1時からゲームを行います。



5月14日、福一満そばクラブが今年度の活動を開始しました。オーナーと会員の皆さんは、午前中は美坂高原にて山菜を採取し、天ぷらにして食しました。午後はじゃがいもと里芋の植え込みを、大収穫を楽しみに和気あいあいと作業しました。

子どもの成長願い両手合わせる 文・写真 本名与四郎さん（西方）

鬼子母神例大祭は、5月5日、西方地区の西隆寺と岩倉山本堂で行われました。鬼子母神堂は標高500メートルの岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したとされています。今年も安産や子どもの健やかな成長を願い、町内外から多数の参拝客が訪れました。小さい子は親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われて、険しい山道を登り参拝する習わしが受け継がれています。また、大神楽の一団が例大祭にあわせて地区内を回りました。恒例の場所となっている西隆寺境内とふるさとセンター前で神楽を披露し、大勢の観客を魅了しました。



棚田お田助オーナー 文・写真 菅家壽一さん（間方）

5月21日、宮ノ前地区において、オーナーとご家族ご友人、そしてお田助隊による田植えが行われました。近年、高齢化等により、荒れた田んぼが増え、美しい里山の景観が損なわれつつあります。そこで、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていただき、自分で作った美味しいお米を食べていただくものです。この日は、県内外から18名がかけつけ、ひとめぼれやマコモダケを約4反分、賑やかに田植えし、美しい景観も維持することができました。また、伝統食研究家の平出美穂子先生が炎天下の中、色々な種類の天ぷらを揚げてくださり、お蕎麦とともに味わいました。稲刈りと稲扱きも、多くの方に「お田助け」いただく予定です。



「田んぼの学校」三島小学生が田植え

文・写真 小島純さん（宮下）

5月23日、三島小児童が地区の水田にうるち米を栽培する“びおたん交流事業”の「田んぼの学校」の田植えが行われました。1年生から5年生までの29名が、びおたんクラブ（会長：目黒政寿さん）の皆さんの指導を受け田植えに挑戦。ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘しながらも、一生懸命作業しました。児童からは「泥に足をとられて大変だった」「難しかったけど楽しかった」「来年はもっと上手に植えたい」との声がありました。秋の収穫作業を楽しみにしつつ、作業を終えました。



※苗は小松正信さん(西方)より提供していただきました

平成29年度三島町商工会第56回総会

文・写真 小島純さん（宮下）

5月23日、平成29年度三島町商工会第56回総会が、商工会館で行われました。佐久間源一郎商工会長のあいさつの後、町内事業所3社5名の方が永年勤続優良従業員表彰（11年、12年、14年、38年は2名）を受け、会長より表彰状と記念品が手渡されました。来賓祝辞の後、議事に入り、全6議案がすべて承認され、今年度のスタートを切りました。商工業、観光振興事業、青年部、女性部などの発展と地域振興を願い、無事総会を終えました。

大谷地区の今をお届けします
諏訪典子さん（大谷）を町民記者に委嘱

5月22日、大谷地区担当の町民記者に、諏訪典子さんを委嘱しました。後日、さっそく記事を寄稿していただきました。今後、大谷地区の情報にもご注目ください。

なお、今回の委嘱で町民記者は13名となり、引き続き各担当地区の多種多様な情報をお届けします。



大谷健康を守る会 文・写真 諏訪典子さん（大谷）



5月3日、大谷グランドにおいて、毎年恒例の輪投げ大会と花見が行われました。今年は天候もよく、大勢の参加があり、会長のあいさつに続いてラジオ体操を行いました。輪投げ大会は4組に分かれて3回戦を行い、楽しく競技することができました。引き続き、満開の桜の下で花見が行われ、時間が過ぎるのも忘れ楽しい一日を過ごし親睦を図ることができました。



観音講総会開催 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

4月9日正午より、桧原地区の観音講総会が地区集会所で行われ、会員20名が参加しました。役員2名と当番員3名が、早朝より厨子と観音仏像2体を設置し、生花等の飾りを準備しました。正午より観音様の慈悲（人々をあわれみ、楽しみを与え、苦しみを取り除くこと）をいただきながら、感謝のご詠歌をあげ、その後総会に移り、全項目が承認されました。総会終了後の直会では会員同士の親睦を深め、楽しいひとときを過ごしました。



ボランティア桧原 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

5月7日午前8時より、ボランティア桧原が地区周辺の国県及び町道の清掃を行いました。美しい町の景観維持のため毎年行われており、今年は23名の参加者が3班に分かれ約4kmの道路沿いのゴミを拾いました。今年は今までになくゴミが少なく、運転手のマナーが向上したのでは、と会員皆で安心しました。また午後6時より総会が開催され、全項目が承認されました。その後の懇親会では会員同士の親睦を深めると同時に、会員の皆様の活動継続に向けた強い思いを感じました。



ボランティアこぶしの会 総会及びゴミ収集

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

4月30日、ボランティアこぶしの会総会が行われ、会員の決議により、今年度の活動が始まりました。

総会終了後は滝原スノーシェッドから早戸スノーシェッドの入り口まで国道沿いのゴミを拾いました。分別したゴミはそれぞれ3袋ずつになりました。終了後はお弁当を食べ親睦を深めました。



「俺たちみたいに山を歩いた人はいない。あの頃は、ゼンマイ採りしかなかった。その当時は、みな、『山を手分け』した。おめえはここ、俺はここに行くからと。うんと仲良く、そういうふうには皆と決めてから山登ったから、採れなかった、『まぐれた』っていうことはほとんどない。

五月になったばっかりのころの、春の早いうちは、浅岐の下流のアシ沢とカラッ沢でゼンマイ採れた。その後に採れたのはワン沢で、六月十四日頃まで通った。田植え時まで、無理してゼンマイ採りに歩いた。

男ゼンマイである。普通採るのは女子ゼンマイ。女子ゼンマイだけ採って、男ゼン

イは全部残す。取り方も色々ある。『ふうけない』うちに、余り伸びすぎてしまうと駄目だからって、四、五寸になったところ、根元から採る。

『メメクリ』って、小っちゃいのは採らない。ちようど良くなるまで伸ばしておく。毎日行っただけだ。一日か、二日おきくらいだと良かった。

ゼンマイでヒトコシ（一腰）ってのは、腰に付けたカゴに採ったゼンマイを入れて、付けていらんにいぐらい重くなったもの。ヨッ（四）コシくらいで背負う。タメカゴにヨッコシカイツ（五）コシくらいでいっぱいになる。カゴの詰め方も色々あって、平から盛り上げて積んで、シバを立てて荷作った。シバを立てないで背負う方法ないか考えて、カゴのクチバタまでたくさん入るようにしたらム（六）コシまで入る。

その大きなカゴは稲藁で作った。当時は、ヒロロ（ミヤマカンスゲ）では藁（み）くらいしか作らなかった。おら家の祖父、爺様、トモ爺様はヒロロを使った。今でもヒロロで作ったナワカゴがある。



ゼンマイ干しの様子

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

その当時のこと思い出してみると、一日平均、干しゼンマイで一貫三百目（もめ）くらい採った年もある。干して一貫目のゼンマイという、綿とったり、干したりで（軽くなるので）十貫目以上のゼンマイを採る必要がある。（毎年）三十五・六日、ゼンマイ採りに歩った。こんなに採れたったのな。だから当時はいいカネ（現金収入）になった。」

浅岐のゼンマイ採り（浅岐地区）

町史編さん室だより

第 17 回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。
☎（52）2165

vol.5

健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎48-5565

1年に1回の健康チェック！
特定健診、がん検診を受けましょう！

今月は「特定健診」についてお知らせします

特定健診は40～74歳の町民の方が責任をもって受診することになっています。また、医療機関で治療中の方でも健診を受けることが勧められています。特定健診を受診するメリットは何でしょうか。

特定健診のココがスゴイ！

1

『自覚症状のない生活習慣病を予防できるのは健診だけ』
病気になってからでは遅い！健診では、今後どのような病気を発症するか予測できます。その段階で治療や、生活改善を！

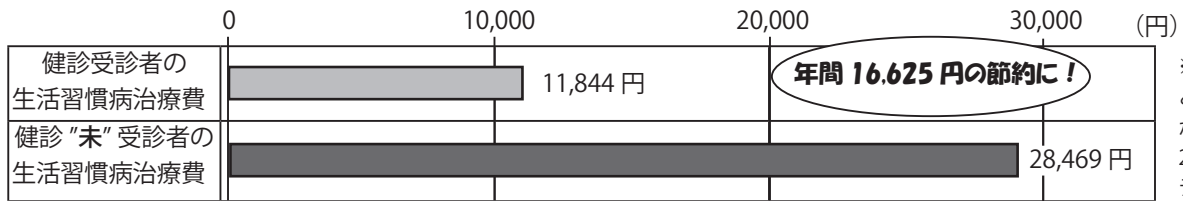
2

『健診の後は無料で健康や体重減少のサポートが受けられる保健指導までセットで行います』
27年度の特定健診で高血糖、高血圧、脂質異常で、保健指導を受けた方のうち50.74%の方が28年度健診で数値改善を達成しています。健診を受けた後は、保健指導も行いますので、希望する場合はご連絡ください。

3

『みんなで受ければみんなの保険料が安くなる！』
1人でも多くの人が健診を受け病気にかかる人が少なくなると、国民健康保険税（介護保険料）の負担も少なくなります。（三島町の平成27年度の特定健診受診率は67.3%で、県内4位でした。）

健診を定期的に受けている人は医療費が安く済みます！



※特定健診の受診有無と生活習慣病治療にかかっているお金（平成27年度国保保険者のデータ）

—総合健診（検診）が6月14日から始まります—

町では「病気になる前にリスクを見つけ予防する健診」をめざし、充実した内容の健診、健診後の保健指導に力を入れております。6月14日㊦～16日㊧、18日㊨に総合健診（検診）を行います。ぜひ受診してください。

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

○利用時間

㊦～㊧ 午前9時～午後9時
㊨・祝日 午前9時～午後5時

○お休み

年末年始
問 公民館 ☎（48）5599

県立移動図書館「あづま号」より、多くの図書をお借りしますのでぜひご利用ください。

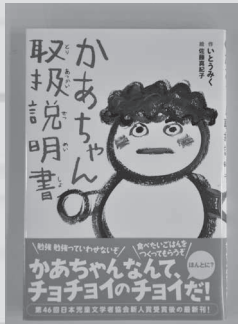
●今月のおすすめ

（児童書）『かあちゃん取扱説明書』
著者：いとう みく

主人公の哲也くんはいつもかあちゃんに怒られてばかり。そこで「かあちゃん取扱説明書」を作って、かあちゃんを思い通りに動かして怒られないように試行錯誤しますが……

●新着本の紹介

題 名	著 者
地球をほる	川端 誠
どうするどうするあなのなか	きむら ゆういち
夜は短し歩けよ乙女	森見 登美彦
ひるね姫～知らないワタシの物語～	神山 健治
阪急電車	有川 浩
うつヌケ ～うつトンネルを抜けた人たち～	田中 圭一



【平成 29 年度 宮下病院「心ある医療」出前講座のご案内】

県立宮下病院では、地域の方々との交流を深め、皆さまに信頼される病院運営に向けた取り組みの一つとして、平成 20 年より「心ある医療出前講座」を開催しております。

この「出前講座」は宮下病院の医療スタッフが直接、皆さまの元へお伺いして、病気の予防や健康増進などをわかりやすくお話しするものです。

皆さまの日ごろの疑問解消や興味のある分野でお役に立てれば幸いです。

○出前講座メニュー 一覧

No.	講座名	内容説明	所要時間	対象者	担当
1	脳卒中を知ろう、防ごう！ ～予防法から最新の治療まで～ ※開催日：㊸の午後（応相談）	①脳卒中の基礎知識 ②脳卒中になりやすい人とは？～こんな人は要注意 ③脳卒中の症状～こんな症状が出たらすぐ治療へ ④脳卒中の治療～最新の治療を交えて ⑤脳卒中の予防	40 分	地域住民 （※会場は、宮下 病院会議室にな ります。）	医師
2	高齢者の転倒予防・寝たきり予防 ～いつまでも、足・腰元気！！～	①なぜ転倒が寝たきりの原因になるのか ②骨粗しょう症とは？また、ならないために ③転ばないようにするにはどうしたらよいか ④転ばない足・腰をつくるための体操	40 分	高齢者	看護師
3	腰痛、膝痛の原因 ～若がえりのための体操～	①腰痛、膝痛はなぜ起こるのか ②腰痛、膝痛予防のための体操	30 分	腰・膝の痛い方 腰痛、膝痛を予 防したい方	看護師
4	高血圧予防教室 ～簡単な血圧予防のお話です～	①高血圧の基礎知識 ②生活のポイント ③家庭での血圧測定のポイント	30 分	成人	看護師
5	いつまでも元気に ～「新老人の会」3つのスローガン～	①いつまでも元気に生活する心の持ちようについて ②気軽にできる体操 ③脳の活性化と転倒しないための運動	40 分	地域住民	看護師
6	いつまでも元気に ～健康は食べることから～	①何から食べると良いか ②どんなものを食べると良いか	40 分	地域住民	看護師
7	生活習慣病ってどういうこと？ ～ちょっぴり運動を続けよう～	①日常生活における食事と運動 ②脂肪を減らして心臓病予防 ③減塩で高血圧予防 ④あなたの血管年齢を測定します 等	40 分	地域住民	看護師
8	生活習慣病 ～肥満について～	①肥満とは ②肥満は何が恐いか ③肥満を防ぐ日常生活とは	40 分	地域住民	看護師
9	生活習慣病 ～糖尿病を知ろう！防ごう！～	①糖尿病ってどんな病気 ②予防について ③糖尿病の恐いところと恐くないところ	40 分	地域住民	看護師
10	生活習慣病 ～脂質異常症ってなあに～	①脂質異常症の診断基準 ②原因・治療・注意事項	40 分	地域住民	看護師
11	感染予防のための正しい手洗い・うがい	①秋から冬にかけて流行する感染症とその予防方法について ②インフルエンザなど ③正しい手洗い・うがいについて説明、実際に行う	40 分	地域住民	看護師
12	笑い与健康 ～笑って健康になろう～	①なぜ笑うと良いか ②実際に笑ってみよう	40 分	地域住民	看護師
13	認知症 ～不安を安心に変えるために～	①認知症とは ②物忘れと認知症の違い ③認知症への対処方法	40 分	地域住民	看護師
14	お薬の正しい知識 ～お薬との上手なつきあい方・使い方～	①薬の正しい飲み方（服用方法・服用時間） ②薬の剤形ごとの特徴とその使い方 ③薬の正しい保管の方法 ④薬を安全に使用するために	40 分	地域住民	薬剤師
15	お薬の正しい知識 ～お薬に関する Q & A～	薬に関する Q & A をご紹介します。	30 分	地域住民	薬剤師
16	元気を作る食習慣 ～バテない食事とは？～	①元気に活動するための食事 ②効果的な水分補給 ③疲労回復の食事	40 分	地域住民	栄養士
17	低栄養を防ぐ ～美味しく、楽しく食べる習慣を～	①低栄養状態のセルフチェック ②食生活のポイント ③噛む力や飲み込みの機能が低下している場合の調理の工夫	40 分	地域住民	栄養士
18	便秘予防と食事 ～おいしく食べてスッキリ快便～	①便秘の原因について ②朝、昼、夕 3 食食べましょう ③食物繊維をバランスよく食べましょう ④乳酸菌とビフィス菌	30 分	地域住民	栄養士
19	減塩食にトライ ～あなたが普段どのくらい塩分を摂っているかご存知ですか？～	①簡単な塩分チェック方法 ②食塩量ランキングクイズ ③塩分を減らすための方法 ④おいしい減塩レシピ（乳和食）	40 分	地域住民	栄養士
20	病気にならないためにできること ～尿路感染予防策、肺炎予防策と対応～	①尿路感染症とは…… 症状と予防策をわかりやすく説明します。 ②肺炎、誤嚥性肺炎予防方法…… 咳がある場合どうすればよいか	30 分 ～ 60 分	施設利用者 地域住民	感染対 策室
21	施設における感染対策 ～病気を広げないためにできること～	①感染とは ②感染成立の連鎖について ③感染対策について ④接触、飛沫予防策が必要な疾患について	30 分 ～ 60 分	施設職員	感染対 策室

上記講座以外でご希望があればご相談ください

○申込み及び問い合わせ先：県立宮下病院 事務部「出前講座担当」 TEL 0241-52-2321 ／ FAX 0241-52-3133

地域おこし協力隊活動報告

Vol.3

歴史・民俗調査及び振興担当 松崎

大（1 年目）



5 月 1 日付で地域おこし協力隊に着任しました



町史編さんのため、調査研究を行っています

みなさま、はじめまして。
平成 29 年 5 月に三島町地
域おこし協力隊に着任いたし
ました松崎です。出身は郡山
市ですが、高校卒業後は帰省
の時期を除いてほとんど福島
に戻ることはなく、高校生
のときの記憶で福島の印象が止
まっていますので、これから
新しく福島や奥会津の魅力を
知っていったらと思っています。
三島の地域おこし協力隊に
応募した理由は、率直にいつ
てしまえば「なりゆき」かも
しれません。父と一緒に奥会
津の観光をしていたとき、美
しい町だな、と思いました。

外国から戻ったばかりでした
ので、日本の昔からの街並み
や風景を残した場所がとりわ
け美しく見えたのかもしま
せん。郡山に戻った後、偶然
地域おこし協力隊の募集を見
つけたので、思い切って応募
してみましたところ、採用して
いただきました。
三島での生活は静かで穏や
かです。以前住んでいた東京
やロンドンではどこにでも人
がいて、静かな場所はなか
かありませんでした。私は景
観の良い静かな所で散歩した
り、ぼうつとすることが好き
なので、三島の静けさを気に
入っています。三島の豊かな

自然を満喫するためにも、山
登りなどにも挑戦してみたい
です。
現在は交流センター山びこ
内の、町史編さん室に勤めて
います。これから三島町誌に
おける生活史や集落史の調査
研究のため、ぜひ町民の方々
からたくさんのお話をお聞き
したいと思っています。私のも
ともの専門は国際関係史です
ので、民俗学や日本の地方史
を調査するのは初めての経験
になります。まだ右も左もわ
からない状況ですので、みな
さまに一から様々なことを教
えていただければ幸いです。

美坂高原で究極の癒しを体験



6/24（土）新月

美坂高原 17：30 ～ 22：00

※雨天時は「交流センター山びこ」で行います

入 場 料 1,000 円

500 円分の食券つき

17：30 開場
18：00 オリエンテーション
19：00 ヨガ教室
20：00 星空観賞会
※開始 30 分は照明を落とします。
21：00 天の川鑑賞
22：00 閉場

●持ち物
ヨガマット（無料貸し出しあり、要予約） | タオル
| ウェア | 飲み物（会場内販売あり）

●主催・お問い合わせ
三島町地域おこし協力隊 TEL 0241-48-5533
（地域政策課内）

詳細は地域おこし協力隊 Facebook をご覧ください。
<https://www.facebook.com/events/1847416202175797>

国家公務員「税務職員採用試験」
(高卒程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか。

○受験資格

1. 高校卒業見込みの者及び高校卒業後3年を経過していない者
2. 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者

○受験申込受付期間

平成29年6月19日⑧から
平成29年6月28日⑩まで

○受験申込方法

インターネット申し込みとする。なお、インターネットで申し込みない場合は、左記連絡先に問い合わせる。

○第1次試験日

平成29年9月3日⑧

●インターネット申し込み先

国家公務員試験採用NAVI

<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

●連絡先・問い合わせ先

・仙台国税局人事第二課試験研修係

TEL 022・263・1111
(内線3236)

・人事院東北事務局

TEL 022・221・2022

ポリテクセンター会津からの
お知らせ

●訓練生募集!

短期・デュアル訓練 機械ものづくり
コース CAD・NCコース

①募集期間

平成29年6月9日⑨から
平成29年7月10日⑩まで

②募集定員 9名

③訓練期間

平成29年8月1日④から
平成30年1月31日⑩まで(6カ月間)

④対象者

公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方

⑤受講料 無料

⑥選考日

平成29年7月18日④ 午前9時

●施設見学会(職業訓練ってなに?)

平成29年6月の毎週月曜日

(5日、12日、19日、26日)

午後1時30分から午後3時30分まで

・いままでのキャリア(職業能力)にプラスして、新たな技能習得のための職業訓練について理解していただく説明会です。また、施設見学会当日は、希望される方は訓練体験も受けられます。

●訓練生募集及び施設見字に関するお問い合わせ先

ポリテクセンター会津 訓練課

TEL 0242・(26)・0520

FAX 0242・(26)・1585

会津坂下警察署からのお知らせ

JKビジネス・AV出演強要について知っていますか

「モデル・アイドルになりませんか」などと声をかけられ、性行為を強要されるなどの被害が相次いでいます

▽事例

①AV出演強要被害

芸能事務所などを装い、モデルやアイドルにならないかと勧誘され、強引にアダルトビデオに出演させられたり、出演を拒否すると高額な違約金を請求された。

②JKビジネス被害

SNSで「学校帰りに制服でお客様とおしゃべりするだけ」などというバイト募集を見つけ、店に行くと服を脱ぐように言われ性行為を強要されたり、服を脱がされ裸の写真を撮られた。

▽被害に遭わないために

①「モデルやアイドルにならないか」と勧誘されたら、名刺や事務所名を確認し、家族と相談しましょう。

②怪しい勧誘は、きっぱりと断りましょう。

③簡単な仕事で高収入などといったアルバイト募集には気をつけましょう。

自転車盗に

気をつけましょう

昨年中は15件の自転車盗が発生しました。4・5・8月に多く発生し、駅前の駐輪場だけでなく、自宅の敷地内から盗まれるケースも多く発生しています。また、被害自転車のほとんどが無施錠でした。

▽被害に遭わないために

①確実に施錠しましょう。

②ワイヤー錠など鍵をもう一つとりつけるなど、ツーロックを心掛けましょう。

●福島県会津坂下警察署生活安全係

TEL 0242・(83)・3451

街頭犯罪発生件数(平成29年4月30日)

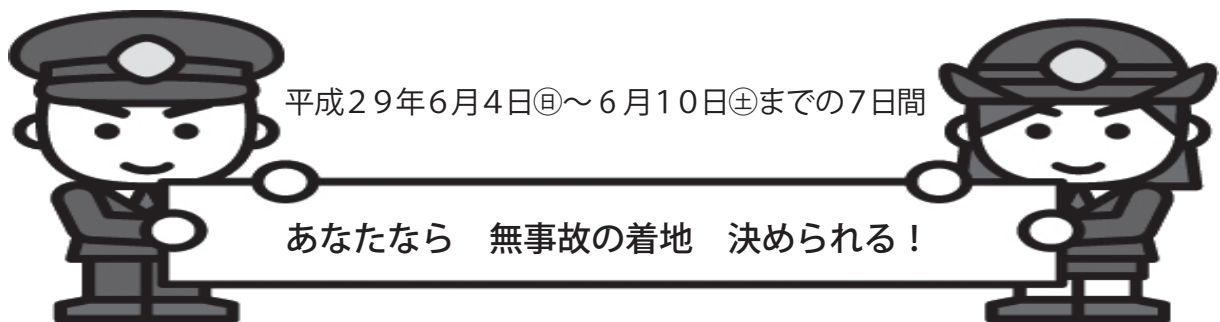
区分	管内	三島町
空き巣ねらい	1	
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗	2	
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	4	0
全刑法犯	34	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

消防署からのお知らせ

平成29年度「危険物安全週間」の実施について



平成29年6月4日⑧～6月10日⑭までの7日間

あなたなら 無事故の着地 決められる!

危険物安全週間は、毎年6月の第2週に全国的に実施されており、今年は6月4日から6月10日までの間に行われます。これは危険物の危険性を確認し、危険物による事故ゼロを目指す取り組みです。危険物とは ①火災発生の危険性が高い ②火災拡大の危険性が高い ③消火の困難性が高いものをいいます。私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。特にガソリンは揮発性が高く、静電気でも引火してしまいます。静電気を除去し、タバコなどの火のついたものを近づけないように十分注意しましょう。

また、各家庭に設置されている住宅用火災報知機のバッテリー交換期限は機種によって異なりますが、目安はおおむね10年ですので、いざというとき鳴らないことのないように各自点検をお願いいたします。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
TEL 52-3032 FAX 52-3033

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

小柴 治 紀 様(西方)

齋 藤 茂 幸 様(宮下)

五十嵐 清 人 様(大石田)

(一般のご寄附)

山びこ友の会 様

地域ふれあいサロンのご案内

ひまわりサロン

6月15日⑩ 午前10時から
町民センター

●社会福祉協議会 TEL(52) 3344

町からのお知らせ

6月分納税のご案内

【納期限 6月30日】

▼町県民税(普通徴収)

忘れずに納付ください。

●町民課町民係

TEL(48) 5555

町の人口と世帯(5月1日現在)

人口	1,691		2	出生	1
男	826	増減	-1	死亡	2
女	865		3	転入	12
世帯	782		4	転出	9

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん



(名前) (地区) (保護者)

五十嵐 咲良(宮下)健二・祐子

板橋 英汰(宮下)洋平・円

舟木 蒼葉(宮下)孝幸・和恵

末永くお幸せに



今月はおりました。

お悔み申し上げます



小柴 愛子(85才・西方)
五十嵐 ミヨ子(90才・大石田)
渡部 栄治(67才・宮下)
黒田 フミ子(85才・宮下)

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。

●総務課総務係 TEL(48) 5511

夢をつないで…
ふるさと列車 只見線



奥会津写真家集団 写好景嶺

只見線復興祈念写真展

○日時

平成29年6月30日(金)まで
午前9時～午後5時
(最終入館 午後4時30分)

○開催場所

三島町交流センター山びこ (月曜休館)

☎ 0241-52-2165 ※入場無料

主催：三島町 三島町教育委員会
三島町交流センター山びこ

共催：奥会津写真家集団・写好景嶺
三島町写真クラブ写団道奥21

後援：三島町観光協会 只見線つなぎ隊

June 2017

第7回 『撮』っておきの三島町

フォトコンテスト 2017

- ・作品募集テーマ
「三島町の自然・人・暮らし等」
- ・作品募集期間
平成29年7月5日(水)まで
- ・作品展示・来場者投票受付期間
平成29年7月5日(水)～8月27日(日)

- ・展示会場・作品応募先
三島町交流センター山びこ
〒969-7402
福島県大沼郡三島町大字名入字
諏訪ノ上418
☎ 0241-52-2165

平成29年7月5日(水)～8月27日(日) 多数のご応募・ご来場をお待ちしています

町長日記 ～足下の泉は？～

No. 23

人口減少社会・高齢社会・限界集落・医療費の増大等の問題や課題が新聞紙上等で論じられているのは、ご承知の通りであります。これらの課題等の底流には、社会が成長するために、経済のパイを年々増大させ、その果実を再配分した結果、人口が増加し「豊かさ」の持続が必要であるという基本的な考え方がみえます。

世界の上位1%の富裕層80人の総資産額が35億人の資産総額に匹敵するとの記事を読み、現実として世界各国が豊かさを求め、このような経済構造の方向性を模索しているとき、経済のパイ拡大が本当に地域住民の豊かさを保証するのか疑問に感じています。

限りある資源、現在の価値観である人口、経済等への基本的な考え方を変えていく必要があると考えています。経済拡大からの「価値の転換・成熟社会の構築」を考えていくには、社会の構造全体のあり方を時代の変化と連動して少しずつ変えていく必要があります。

三島町は、日本では下から6位、福島県では1位の人口の少ない町であります。小規模自治体が輝くためには、過去から何を学び、何を主張していくかが重要であります。

その原点は、過去に編さんした「三島町史」や町の各種振興計画であり、また現在進めている「町史古文書編」や「町史集落史」等であると考えています。

困難な道程ではありますが、方向としては「健康」「自然」「環境」そして「再生」の4点を核として政策の構築を図るのが、山村に生きる使命であります。「健康」では平均寿命と健康寿命の差を縮小させる政策の展開。「自然」や「環境」、「再生」では自然環境を活かした農林業の振興策や生活工芸村構想の施策を図っています。循環型社会の構築こそ山村は求められています。時代は、その方向に動いています。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511
■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp
■印刷 三洋印刷株式会社